

高野新聞

Vol.90



たかの
高野 たけし
無所属 45歳

逗子市議会議員（4期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員
- ・総合的病院に関する特別委員会委員

高野たけしの活動報告 ～住みやすいまちづくりに向けて～

神奈川県内の政令市を除く16市の財政状況を比較してみると、逗子市は財政力指数、経常収支比率ともかなり厳しい状態にあることが分かります。

財政力指数(単年度)		経常収支比率	
1 厚木市	1.232	1 藤沢市	92.0%
2 鎌倉市	1.087	2 小田原市	93.1%
3 藤沢市	1.052	3 海老名市	93.9%
4 海老名市	1.015	4 平塚市	94.5%
5 平塚市	0.973	4 大和市	94.5%
6 小田原市	0.972	6 伊勢原市	94.7%
7 伊勢原市	0.967	7 厚木市	95.1%
7 大和市	0.967	8 鎌倉市	95.3%
9 茅ヶ崎市	0.953	9 座間市	96.8%
10 綾瀬市	0.923	10 綾瀬市	98.2%
11 南足柄市	0.909	11 茅ヶ崎市	98.3%
12 座間市	0.905	12 秦野市	99.0%
13 秦野市	0.904	13 南足柄市	99.3%
14 逗子市	0.879	14 横須賀市	100.1%
15 横須賀市	0.820	15 逗子市	101.5%
16 三浦市	0.634	16 三浦市	104.0%

※財政力指数、経常収支比率ともに平成28年度決算ベース

財政力指数：財政上の能力を示す指数。
この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。
一般的には70～80%が望ましいとされている。

政治資金の残り **あと 60,109円**

(12/1～12/31の内訳)

支出…アンケート用ハガキ 11,100円
ポスター掲示用両面テープ・結束バンド 3,844円

◆財政構造の見直しが喫緊の課題

逗子市の財政状況が悪化した要因の一つは、義務的経費、特に社会保障に充てられる扶助費の増加であると言えますが、これは社会状況、人口動態の変化に伴うものと考えられます。こうしたことから今後は転入促進策に力を入れ、生産年齢人口を維持し、税収の確保に努めていくことが重要となってきます。

また、現在の財政構造を見直すためにも、前年度繰越金や財政調整基金に頼らない予算作りへの転換も大きな課題です。

◆長寿命化対策は計画的に

さらに、老朽化が進む公共施設対策も今後の重要施策の一つと言えます。現在119ある公共施設の内、建築後30年以上経過しているものが59施設あり、特に教育施設に集中しています。子どもたちの安全を第一に考え、対策を講じていかなければなりません。建て替えは元より延命化を図るにしても多額の予算が必要となってきます。

そのため、教育施設をはじめとする公共施設の長寿命化対策については計画的に進めていく必要があると考え、担当所管に対し計画を早期に策定するよう提言したところです。

	建築年度	大規模改修年度
逗子小学校	2004年度～	
沼間小学校	1973年度～	2010年度～
久木小学校	1968年度～	1998年度～
小坪小学校	1966年度～	1999年度～
池子小学校	1974年度～	2007年度
逗子中学校	1972年度～	2000年度～
久木中学校	1974年度～	2008年度～
沼間中学校	1989年度	2015年度

※各学校施設においては複数の建物があり、建築や改修に複数年度かかっているケースは一番古いものを基準にしています。

Topics

県道24号主要地方道横須賀逗子線のうち、田越川沿いに設置されている歩道の拡幅を望む声を受け、歩行者の安全対策に関する要望書を持って横須賀土木事務所を訪問。

当該道路には断続的に3箇所の歩道が整備されていますが、田越橋交差点から逗子海岸方面に向かって伸びる一つ目の歩道幅は約72cm(縁石部分を含めると約90cm)となっています。そして、電柱があるところでは、さらに狭い約55cmの幅しかありません。

また、富士見橋から渚橋にかけて設置されている三つ目の歩道幅は約70cm(縁石部分を含めると約88cm)で、電柱があり狭くなっているところでは約29cmと、どちらの歩道も双方向から歩行者が来た際には車道に降りなければならない状態となっています。

当該道路は逗子海岸と市街地を結ぶ主要路線の一つであり、車の通行量も非常に多いため、逗子小学校の通学路の一つとなっている事を考えると早急な改善が必要です。

さらに、当該道路の歩道未整備部分においても見通しが悪く歩行者の危険性が高いことから、合わせて安全対策を施していただくよう改善を要請したところです。

道路を管理する横須賀土木事務所からは、安全性を考慮した対策を検討する旨の回答をいただきましたので、早期の改善が図られるよう引き続き対応していきたいと思っております。

県土木所長に改善要望書を提出



計測して、改めてその狭さを実感...



視察報告 ~全天候型フォレストベンチ工法~

横浜市泉区へ、『全天候型フォレストベンチ工法』の現地視察に行ってみました。

傾斜地対策として用いられている『全天候型フォレストベンチ工法』は、斜面に階段状の水平面を設け、そこに間伐材を取り付けた井桁フレームをアンカーで固定し土砂崩れを防ぎます。そして、棚田のような段々造成で得られた水平面に植栽を施し、年月をかけ周りの緑と一体感が得られる景観に仕上げていくものです。

また、施工箇所の表面をコンクリート等で固めないため、水や空気の入りを自由にできることも特徴の一つで、豪雨などの水害にも強いそうです。

さらに、垂直面1㎡あたりの単価が約5万円と安価な上、工期が短いのも特筆すべき点で、今回見学させていただいたのは幅約30m、高さ約5mの斜面地でしたが、工事費用は650万円程度で工期は2ヶ月弱とのことでした。

ただし、段々造成を行う為、ある程度の奥行きが必要であり、場所が限定されてしまうところはこの工法を用いる際の課題ではないかと思っております。

逗子市も三方を山に囲まれ傾斜地の多い地域であることから、景観を保全した新たな工法として検討してみる価値はあるものと感じたところです。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp